

Google スプレッドシート 児童の振り返りを見える化

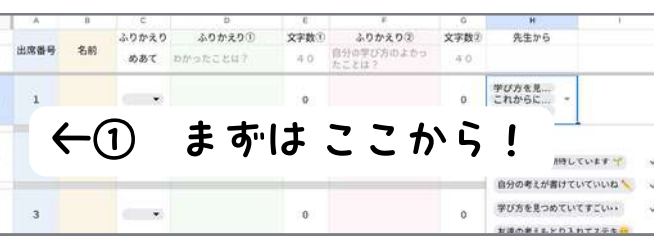
振り返りシートを活用することで、「どう学んだか」「なぜそう思うか」「次はどうするか」——こうした問いを、子供たち自身が語り出すようになります。
ちょっと試してみませんか？



子供たちが主体的に学習を調整するためには、単に子供に任せるのではなく、一人一人の子供が自ら学びに向かおうとしているか、様々な学習の方法を自ら使えるように身に付けているか、その学びを意味付け・価値付けできる**振り返りの場を用意している**かなどの視点に立って、**教師が学習環境を適切に整えていく**ことが大切です。
◀〈引用〉文部科学省：「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のためのサポートマガジン『みるみる』P13

3つのテンプレート紹介

① シンプル振り返りシート



- 初心者でも安心
- 項目：氏名／感想／学び方の振り返り／文字数カウント／教師FB欄
- 活用場面：日々の授業の振り返り／学校全体の共通様式導入

② キーワード色付けシート

- 子供の入力に応じて、教師設定キーワードに自動で色付け
- 色で思考の傾向や理解度が一目でわかる
- Google Apps Script 認証で動作
- 活用場面：学級全体の学びの傾向把握



←②③ 山梨大学 三井先生ご提供

③ 学びのデザインシート

- 教師と子供が“学びの見通し・進行状況”をクラウドで共有
- 入力は自動でダッシュボード集約
- 活用場面：授業前の見通しづくり／協働学習のペア決定

具体的な使い方やダウンロードはこちらから

徳島県GIGAスクールサポートサイト
→県域アカウントの使い方
→Googleスプレッドシート

◀ <https://gigaportal.tokushima-ec.ed.jp/google-account-guide-sheets>



活用した先生方のコメント

単元を通して、振り返りを1枚のシートに記録・蓄積できるようにしたことで、学習の流れが一目で見えるようになりました。

振り返りの視点や評価の基準を明示することで、子供自身が何を意識して書けばよいかを理解しやすくなりました。

スプレッドシート上で共有することで、友達の振り返りを参照し合い、新たな気づきを得る姿が見られました。

子供の記述に対して教師が即時にフィードバックを行うことで、学びへの意欲や次の活動への前向きな姿勢が高まりました。



生成AI (Gemini) で作成